

第51回運営委員会概要

- ・開催日時 平成19年9月20日(木) 18:30 ~ 22:15
- ・会場 柏崎原子力広報センター 2F 研修室
- ・出席委員 新野、渡辺(丈)、川口、久我、佐藤、高橋(武)、武本、前田
- ・欠席委員 三宮
- ・オブザーバー 保安院/今井所長、エネ庁/沼田所長
東京電力/長野副所長、守GM
- ・事務局 柏崎市/藤巻主任、広報センター/押見

【決定事項】

(1) 次回以降定例会(年内)の内容について

- ・10月3日
 - ・「前回以降の動き」の報告を受け、地震関連でその後実施したこと、分ったこと等の内容について質疑する。
 - *原子炉内点検状況について東電から説明をしてもらう。
 - ・地震により自動停止した4基の原子炉の停止状況について東電から報告を受け質疑する。
 - ・若山柏崎副市長と品田刈羽村長及び県危機管理監が委員となっている「調査対策委員会」の、仕組みや内容について保安院から説明をってもらう。
- ・11月7日
 - ・「前回以降の動き」の報告を受け質疑する。
- ・12月5日
 - ・内容は後日の運営委員会で協議する。
- ・公開勉強会
の開催
 - ・日程 11月11日(日)、17日(土)、18日(日)で可能な日の、午後1時半~4時半。
 - ・会場 産文大ホール(3F)、市民プラザ、商工会議所で可能な所。
 - ・テーマ 地震の発生メカニズム等(一般論)について
中越沖地震について
 - *昨年、溝上講師の講演では、柏崎刈羽地域での発生は無いとの見解だったが、発生した。このことを踏まえて違った考えの方も含め話を聴く。

- ・講師 溝上恵氏（昨年の講師）及び 石橋克彦氏（神戸大学教授）

* 日程、会場、講師都合を事務局で早急に調整する。

* 講師都合伺いは溝上氏は今井所長が、石橋氏は武本委員がする。

【協議内容】

: 勉強会の実施について

- ・今回の地震で何が起きたのか。今後このようなことはあるのか明らかにしてもらいたい。
- ・地震の起きたこの地域は13万年間動いていないと、国も東電も言ってきたが今回動いた。
- ・東電が調査してそれを国が審査し認可して来たが、国も調査をすべきではないか。国も調査しないと住民の信用を得られないのではないか。
- ・調査段階であり、東電にどうなっているのかを聞く段階ではないと思う。
- ・国が保証しているから安全なんだと議会も言ってきた。
- ・経済産業大臣も地震直後に「当時の知見は誤りであったのかも知れない」と発言している。
- ・昨年話を聴いた溝上先生や反対の考えを持つ他の地震学者の話を聞きたい。
- ・昨年の溝上先生の話では柏崎地域を震源とする地震は起きないであろうとの見解であったが、今回発生した。どうしてかを聞いてみたい。
- ・同じテーマで2人に話して貰うのが良いと思う。
- ・原発にこだわらないで、一般的地震論と中越沖地震の話をして貰ってはどうか。
- ・講師には、溝上先生と反対の考えを持っている石橋克彦神戸大学教授が良いと思う。石橋先生は来てくれると思う。
- ・溝上先生がダメな時は、高島先生（原子力安全基盤機構）を第二候補ではどうか。
- ・時期は11月中旬から12月上旬が良いと思う。
- ・11月11日（日）、17日（土）、18日（日）当りの午後1時半～4時半が良いと思うが。
- ・定例会と兼ねても良いのではないか。
- ・11月7日のラピカでの定例会は通常の定例会が良いと思う。
- ・場所は、産業文化会館や市民プラザで公開するのが良い。
- ・場所は無ければ商工会議所の会議室でも良い。

: 風評被害について

- ・高柳のじょんのび村で、地元の野菜は出さないで欲しいと言ったお客さんいたと

いう話を聞いた。

- ・海水浴場は例年の10分の1だった。
- ・中越地震の時も湯沢温泉にも被害が及んだが、今回は全県で被害が出た。
- ・観光客が減ったのは原発が原因だけではないと思う。
- ・「ゆうぎ」での場合は、交通はどうか。電気はどうか。余震はないのか。等を心配する問い合わせやそれを理由としてのキャンセルが多かった。
- ・一人の一言が全てようになってしまう。
- ・地震で大変な時に遊びに行くのは申し訳ないとの理由でキャンセルもあった。
- ・どうして風評被害が起きたのか。どうすれば防げたのか。そう言う話も大事なのではないか。
- ・テレビスポット等を流すべきだったのでは。費用が何円位かかるのかもあるが、結果的には実施していた方が安上がりであった。
- ・今回の風評被害の原因は原発（放射能漏れ等）と地震（余震等）の複合要因。
- ・メディアが大勢来たが若い人が多く原子力について知らないような感じを受けた。
- ・各局とも全国の支局等からの応援を仕立てていたため、情報を得る方法、場所等を知らなかったため東電へ集中したようだった。

: 10月3日の定例会の議題について

- ・前回定例会以降の動きを報告して貰い、質疑するので良いのでは。
- ・東電から「炉内点検」について報告が出来ればして貰う。
- ・保安院から柏崎副市長や刈羽村長、県の危機管理監が委員をしている「調査対策委員会」について説明をして貰う。
- ・今回の地震で原発は自動停止したが、簡単に止まったと思っているかも知れないが、そうとも言えないと思う。通常スクラムはどういう止まり方をするのか。4基とも違った止まり方をしている。号機別に冷温停止に至る経過を説明して貰う。
- ・中越地震の時は本震の後に同じ位の余震が何回も起きた。今回の中越沖地震はそうではなかったが、同じ事態だったらどうなったのか。

: 11月7日及び12月5日の定例会の議題について

- ・11月7日＝10月3日定例会以後、11月7日までの動きの報告を受け質疑する。
風評被害について、被害を増長させた原因や対処方法等について意見交換をしてはどうか。
- ・12月5日の定例会の議題は後日決める。

: 委員の意見・質問事項について

- ・東電に対して = 今回の地震記録は「ガル」のみだが、中越地震の時と同様に「カイン」も公表すべき。
 - * (東電) 中越沖地震での「カイン」のデータは現在持っていないので、持ち帰って検討させて欲しい。
- ・東電に対して = 東電の社外対応についてマスコミや行政に対しては注意を払っているようだが、住民に対しては即時広報が無い様に感じるが。
 - * (東電) 前回の定例会で説明をさせていただいているので、口頭にて「反省をしており、貴重なご意見として受け止めている」旨、お答えする。
- ・保安院に対して = 定期点検の期間延長～ について
 - * (保安院) ・検討の最中であり、決まった訳ではない。
 - ・期間を延長して手を抜くと言うことではなく、点検場所等項目毎に期間を設定することも適切ではないかということ。
 - ・12月定例会で説明して貰うことを、10月3日の定例会で話す。

以上

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">◆ 10月3日、第52回定例会終了後、運営委員にて再度勉強会の日程調整を検討した。<ul style="list-style-type: none">・石橋先生の勉強会は11月17日、午後13:30～16:30に決定。・溝上先生は、11月での調整がつかず、12月1日、2日、5日で再度調整することとした。なお、5日がOKならば、12月定例会の中での実施とし、1日か2日になった場合は、定例会予定日を変更して、勉強会の日を定例会とする。◆ 次回運営委員会は、10月25日(木)センターにて18時半から。 |
|--|